

当院では下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供することを希望されない場合は、下記のお問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	Infracloccular approach におけるランドマーク the inferior retrosigmoid eminence
研究責任者	湖東記念病院 脳神経外科 後藤 幸大
分担研究者	湖東記念病院 脳神経外科 井上卓郎
研究の対象	湖東記念病院 脳神経外科を受診し 2022 年 1 月から 2023 年 9 月に手術を施行した患者 122 例を対象とする。
研究目的・概要	Infracloccular approach は片側顔面痙攣(HFS)の治療で広く用いられている。しかし mastoid air cell や S 状静脈洞の発達により後頭蓋窩の解剖学的な個人差を理解することが不可欠である。Occipitomastoid suture と digastric groove の間に存在する骨隆起は個人差が大きく後頭蓋窩解剖を理解する障壁の 1 つとなっている。この隆起について、頻度やサイズ、静脈洞との位置関係について解析する。
研究実施期間	2025 年 2 月
研究に用いる情報の種類	カルテ記録、画像記録
外部への提供	—
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表する可能性がありますますがその際にも個人を特定できる情報が公表されることはありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。 また、利用を拒否したい場合には下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 2025 年 2 月 お問合せ先 : 湖東記念病院 脳神経外科 研究責任者 : 後藤 幸大 電話番号 : 0749-45-5000 (代表)